

那須塩原市議会だより

ぎかいのひととき

9月定例会議の内容をわかりやすくお伝えします。

2025.11.20 No.116

特集

NPO法人なす食育塾
×
市議会

MENU

特集	P 2
税金の使い方を確認しました	P 4
常任委員会の審査・調査	P10
会派代表質問・市政一般質問	P12
Future	P22



特集

NPO法人 なす食育塾 × 市議会

地域の皆さまと
「食」を通してつながっていききたい…



NPO 法人なす食育塾とは

すべての人々が「食」に関する知識と「技」を身につけられるよう、様々な事業を展開し、地域における「食」の分野でのエキスパートを目指して活動している。

コロナ禍以降は、げんきのら倶楽部の畑で、子どもたちの野菜作り体験を中心に、民泊の受け入れ、食育塾通信の発行など活動は多岐に渡る。

<活動を始めたきっかけは？>

◆学校給食調理員をしていた時、学校で食の問題を抱える子どもや保護者に対し、なんとかしたいという強い気持ちがありました。退職時期にNPOを作る講座を受講して始めたのがきっかけです。

<活動の目的や、大切にしている理念は？>

◆健康のためには、誰しも食べることが一番大切だと思っています。

<活動する仲間はどんな人？>

◆主に高齢者ですが、若い人がホームページで情報発信してくれています。

また、のらっこLetterを書いてくれる人もいて、感謝しています。

<活動を通じて子どもたちや参加者に変化を感じることは？>

◆最初はゲームばかりしていた子が、自分で種まきをして、芽が出て、収穫まで体験することで、畑でとれた野菜を食べられるようになり、キャベツやニンジンも、畑で収穫したそばから食べられるようになりました。

<地元の生産者や学校、企業などの連携はある？>

◆「食育かるた」を作り各小学校に2個ずつ寄付しました。塩原小



食育塾通信（のらっこLetter、楽しい食育）

人々の健康な食生活のために

中学校からは、追加でほしいと言われるほど反響がありました。

<地域の農産物や食文化を意識していることはある？>

◆イベントでは、海苔巻きやお赤飯に地元の食材を使うようにしています。

<食育を通じて伝えたいことを一言で表すと？>

◆食べることが生きること、生きることが食べること。何よりも、食べ物の知識を付けてもらいたいです。

<印象的なエピソードを教えてください？>

◆なす食育塾に来た子どもたち

が、将来栄養士になりたいとか、農業をやりたいとか、食に関連する職業に就く夢をもってくれたことです。

<挑戦したいことや新しい展望はある？>

◆私たち後期高齢者ばかりなので（笑顔）今製作中の高齢者向けの川柳カルタがもうすぐでき上がります。お楽しみに！

<食育と健康づくりの関係は？>

◆食べることで健康が維持されるので、食べることをないがしろにしないで欲しいです。

<世代ごとの関わり方は？>

◆子育て世代には、3歳までに味覚が決まると言われているので、料理をしてもらいたいです。高齢の方にはぜひ、食を楽しんでもらいたいと思います。

<「こんな風になす食育塾を活用してほしい」というメッセージは？>

◆食育塾通信をぜひ読んで欲しいです。

<市議会や行政に期待することは？>

◆野生鳥獣に食べごろのトウモロコシやスイカ、落花生など食べられてしまいました。野生鳥獣による食害対策をしてほしいです。

令和 7 年 9 月定例会議が開催されました

令和6年度決算

皆さんの税金の使い方の一部です

一般会計・特別会計
歳出決算
総額790億円を認定

一般会計、特別会計などの8会計の歳入歳出決算について審査を行いました。

予算執行状況や行政効果の確認などを基本に審査した結果、各会計とも適正に処理され、財産管理および基金の管理運用等についても、適正に執行されていることを確認し、8会計すべて認定しました。

一般会計の令和6年度決算額は、令和5年度と比べて、歳入は6.5%増加、歳出は7.1%増加しました。

令和6年度歳出決算	
一般会計	572億2,579万円
特別会計	218億2,327万円
水道・下水道事業会計	
収益的支出	51億5,427万円
資本的支出	32億3,689万円

総務費

- 防災対策費 4,392 万円
- 新庁舎整備事業費 1 億 3,362 万円
- 移住・定住促進事業費 1 億 1,034 万円
- シティブランディング事業費 2,074 万円
- 那須塩原駅周辺まちづくり推進事業費 6,352 万円
- 物価高騰対策事業費 1 億 5,804 万円

問 移住・定住促進事業費について、補助金の実績について伺う。

答 新幹線定期券購入は 229 万 3,500 円で 28



件。移住応援補助金は 1,077 万 3,000 円・72 件、移住支援助成金は 8,780 万円・60 件、移住サポート助成金は 270 万円・22 件であった。

民生費 衛生費

- 地域共生社会推進支援事業費 2,366 万円
- 定額減税調整給付等給付事業費 9 億 5,079 万円
- 障害者福祉サービス給付費 36 億 3,133 万円
- 高齢者福祉総務費 132 万円
- 児童福祉総務費 5,659 万円
- 保育施設給付費 37 億 3,844 万円
- こども家庭センター事業費 1,294 万円
- 児童手当費 18 億 8,682 万円
- 環境保全総務費 450 万円
- 地球温暖化対策推進費 4,105 万円
- 脱炭素社会構築推進費 7,658 万円
- 那須塩原クリーンセンター管理運営費 36 億 6,109 万円
- 旧清掃センター管理費 2 億 8,360 万円



問 障害児・障害者サポートアプリの登録者数と効果について伺う。

答 登録者数は 8 月末時点で約 1,200 人。アプリに事業所一覧を掲載しており、障害者が自分に合った施設を探せるほか、手帳情報を登録することで更新時期のお知らせを市から受け取ることができる。



- 中山間地域活性化事業費 5 億 829 万円
- 牛乳等による地域活性化推進事業費 369 万円
- 農村基盤施設整備事業費 6,513 万円
- 農観商工連携推進事業費 722 万円
- 企業誘致事業費 3 億 3,452 万円
- 観光誘客促進事業費 1 億 2,965 万円
- スポーツツーリズム推進費 647 万円

問 農業に関わる各種補助金制度により、成果が顕在化している代表的な事業について伺う。

答 34 団体が利用している環境保全型農業直接支援事業や多面的機能支払交付金、また市単独事業の次世代農業チャレンジ事業などが挙げられる。

農林水産業費 商工費



- 道路維持管理費 5 億 9,150 万円
- 社会資本整備総合交付金事業費 1 億 8,416 万円
- 公園整備事業費 4,424 万円
- 住宅総務費 637 万円
- 那須地区消防組合負担金 17 億 7,256 万円

問 道路維持管理費が前年度より約 1 億 2,000 万円増加した理由について伺う。

答 塩原地域で実施している落石防護施設設置工事に着手したためである。

土木費 消防費



- コミュニティ・スクール事業費 89 万円
- 小学校施設整備事業費 11 億 9,658 万円
- 中学校施設整備事業費 1 億 5,491 万円
- 体育施設整備事業費 6,890 万円

問 スポーツ推進審議会委員（7 人）とスポーツ推進委員（50 人）の構成について伺う。

答 スポーツ推進審議会委員は、市のスポーツ計画や補助金などに関する意見を伺うもので、スポーツ関係団体の長や学校長の代表などで構成されている。スポーツ推進委員は、ボッチャやモルックなどニュースポーツの普及を目的に出前講座を行っており、ニュースポーツの研修受講者で構成されている。

教育費

議案等の審査結果

本会議において審議された議案の結果（報告案件は除く）は次のとおりです。

議案番号	件 名	結 果
同意第 6 号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同 意
議案第50号	那須塩原市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び那須塩原市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について③	可 決
議案第51号	那須塩原市税条例の一部改正について	可 決
議案第52号	那須塩原市体育施設条例等の一部改正について④	可 決
議案第53号	那須塩原市市営温泉事業条例の一部改正について⑤	可 決
議案第54号	那須塩原市上、中塩原温泉管理事業条例の一部改正について	可 決
議案第55号	那須塩原市営住宅条例の一部改正について	可 決
議案第56号	那須塩原市水道事業給水条例の一部改正について	可 決
議案第57号	那須塩原市下水道条例の一部改正について⑥	可 決
議案第58号	那須塩原市消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について⑦	可 決
議案第59号	那須塩原市ホースガーデン条例の廃止について⑧	可 決
議案第60号	令和 7 年度那須塩原市一般会計補正予算（第 6 号）⑨	可 決
議案第61号	令和 7 年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）⑩	可 決
議案第62号	令和 7 年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）⑪	可 決
議案第63号	令和 7 年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）⑫	可 決
議案第64号	令和 7 年度那須塩原市温泉事業特別会計補正予算（第 1 号）	可 決
議案第65号	令和 7 年度那須塩原市墓地事業特別会計補正予算（第 1 号）	可 決
議案第66号	令和 7 年度那須塩原市水道事業会計補正予算（第 2 号）	可 決
議案第67号	令和 7 年度那須塩原市下水道事業会計補正予算（第 2 号）	可 決
議案第68号	財産の取得について	可 決
議案第69号	令和 6 年度那須塩原市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可 決
議案第70号	令和 6 年度那須塩原市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可 決
認定第 1 号	令和 6 年度那須塩原市一般会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定第 2 号	令和 6 年度那須塩原市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定第 3 号	令和 6 年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定第 4 号	令和 6 年度那須塩原市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定第 5 号	令和 6 年度那須塩原市温泉事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定第 6 号	令和 6 年度那須塩原市墓地事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定第 7 号	令和 6 年度那須塩原市水道事業会計決算認定について	認 定
認定第 8 号	令和 6 年度那須塩原市下水道事業会計決算認定について	認 定

請願・陳情の審査結果

請 願

No.	受理年月日	件 名	請願者氏名	結 果
2	令和 7 年 8 月25日	高校生医療費助成の現物支給化に関する請願①	瀬川 淳多 ほか 124 名	採 択
3	令和 7 年 8 月25日	学童野球公式戦及びその他の少年少女スポーツにおける公式戦の市施設使用料無料化に関する請願	那須塩原市全学童野球 公式戦球場無料化を訴える会 代表 中野 英樹 ほか 1,738 名	継続審査

継続審査とは、定例会議又は臨時会議の中で審査を終えられなかった請願や陳情などを、付託を受けた委員会が引き続き審査する手続きのことです。請願第 3 号については、児童が取り組んでいる各種競技の大会で使用する、市内のスポーツ施設について、どのような基準で使用料が減免されているのか、より調査・整理する必要があるという判断により、継続審査となりました。

陳 情

No.	受理年月日	件 名	陳情者氏名	結 果
2	令和 7 年 8 月 8 日	三斗小屋宿跡地保全に関する陳情	香田 隆正	採 択
3	令和 7 年 8 月25日	那須塩原市でノーマイカーデーの導入を求める陳情②	住みよい那須塩原市を考える会 高嶋 幸雄 ほか 8 名	採 択

広聴広報委員会からのお知らせ

議案等の審査結果のページと委員会での審査内容のページの関連性を分かりやすくするため、番号を表示しています。

意第 5 号	那須塩原市副市長の選任について	市任委員会 建設経済常任委員会 【審査分野】都【委員】◎大野 齋藤寿一 県の道路が市に移管され、市が管理する道路が増えます③ 問通学路の変更や除雪の計画といったものは変更になるのか。 答変更は特にない。 問今後市が管理運営するとのことであるが、維持管理費はどのようなになるのか。
意第 6 号	那須塩原市固定資産評価員の選任について	
案第 56 号	令和 6 年度那須塩原市一般会計補正予算（第 1 号）	
案第 57 号	市道路線の認定について③	
案第 58 号	令和 6 年度那須塩原市一般会計補正予算（第 2 号）	
案第 59 号	令和 6 年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	
案第 60 号	令和 6 年度那須塩原市一般会計補正予算（第 3 号）	

各議員の議案等に対する賛否の状況

賛否の分かれた案件のみ記載しています。

会派名	シン・那須塩原								公明クラブ				なすの会			みらい共創			敬清会	日本共産党	りっけん市民の会	採決結果			
議員名	松野真弓	赤塚茂昭	小出浩美	林美幸	森本彰伸	齊藤誠之	相馬剛	松田寛人	齋藤寿一	矢島秀浩	星野健二	田村正宏	星宏子	三本木直人	佐藤一則	小島耕一	金子哲也	室井孝幸	山形紀弘	平山武	中村芳隆		大野恭男	堤正明	戸張靖久
議案第59号	■那須塩原市ホースガーデン条例の廃止について ⑧																								採 択
	○	×	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	
陳情第3号	■那須塩原市でノーマイカーデーの導入を求める陳情 ②																								採 択
	×	×	×	○	×	-	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	
認定第1号	■令和6年度那須塩原市一般会計歳入歳出決算認定について ⑨																								可 決
	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
認定第2号	■令和6年度那須塩原市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について ⑩																								可 決
	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
認定第3号	■令和6年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について ⑪																								可 決
	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
認定第4号	■令和6年度那須塩原市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について ⑫																								可 決
	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	



討論

議案第 59 号 那須塩原市ホースガーデン条例の廃止について ⑧

賛成

●日常的にゲームや携帯に支配されがちな子どもや、精神的セラピーが必要な人にとって、本物の馬に接することは、すごい効果がある。このすごい施設を市がやっているのは全国でもまれであり、市の宝であり財産でもある。廃止すべきではない。(金子 哲也議員)

賛成

●賛成討論はありませんでした。

請願第 2 号 高校生医療費助成の現物支給化に関する請願 ①

賛成

●本請願の医療費助成方式は、栃木県内の自治体すべてで実施されている。高校生の医療費助成を償還払い方式から現物支給方式へ変更し、子育て世帯の全額立て替えと償還払いの事務手続き等、保護者負担の軽減につながることから賛同する。(堤 正明議員)

反対

●反対討論はありませんでした。

陳情第 3 号 那須塩原市でノーマイカーデーの導入を求める陳情 ②

賛成

●気候変動の危機は待ったなしである。市民レベルで二酸化炭素排出量の削減に取り組むことは非常に重要な意味合いを持つ。市民への二酸化炭素排出量削減の意識づけを図ることを目的としてノーマイカーデーの導入を求めることに賛同する。(堤 正明議員)

反対

●反対討論はありませんでした。

認定第 1 号 令和 6 年度那須塩原市一般会計歳入歳出決算認定について ⑨

賛成

●令和 6 年度決算は実質収支 28.9 億円黒字を確保した。市税収納率 97.25%、基金 178 億円を蓄積。財政指標も、財政力指数や公債費比率、公債費負担比率が改善し、本市財政の健全化を図れた。市民福祉向上と将来の基盤整備を着実に進めているため賛成する。(星 宏子議員)

反対

●本市の財政調整基金は 46 億 9,435 万 7 千円であり、基金の合計は 227 億 9,436 万 5 千円にもなる。本市の持続可能なまちづくり推進のためにも保育料の無料化、学校給食費の無償化、ドア to ドアのデマンド交通導入など基金を市民生活向上に使用すべき。(堤 正明議員)

認定第 2 号 令和 6 年度那須塩原市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について ⑩

賛成

●平成 22 年度から 14 年間続いている収納率アップが更に伸び、各種給付事業等が適切に実施されたことにより、すべての会計で黒字を確保した。これは創意工夫を積み重ね、地道に収納対策に取り組んできた成果が着実に表れているものと評価できることから賛成する。(松野 真弓議員)

反対

●均等割額は、赤ちゃんが生まれればすぐに税の対象となり子どもの数が多いほど国保料が上がり子育て支援に逆行している。全国知事会も子どもの均等割り軽減の拡充を求めている。少子化対策・子育て支援の観点から減免を行い実質ゼロにすることが必要だと考える。(堤 正明議員)

認定第 3 号 令和 6 年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について ⑪

賛成

●収入済額 12 億 5,274 万 7,696 円で収納率は、99.28%。不納欠損額は令和 5 年に比べ 75 万 3,032 円の減であった。令和 6 年度は、後期高齢者医療特別会計等における各種給付事業が適切に実施され、全ての会計で黒字を確保した。(佐藤 一則議員)

反対

●年金が上がって喜んだが医療費の自己負担が 1 割から 2 割になってしまい実質の手取りが少なくなったという市民の声がある。後期高齢者の医療費窓口負担を 1 割に戻すことが必要である。また、健康診査に聴力検査を加え、認知症の予防を図ることが重要と考える。(堤 正明議員)

認定第 4 号 令和 6 年度那須塩原市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について ⑫

賛成

●AI を活用したフレイル対策に取り組み、介護予防・健康寿命の延伸を図る施策を展開したこと、またコロナ特例の終了に伴う介護認定期間の遅れに対し、認定調査員の増員や審査会のペーパーレス化等を実施し、認定期間の短縮に努めたことは評価できる。(林 美幸議員)

反対

●特養ホームの待機者ゼロを目指し、高齢者の生活実態を勘案し要支援の高齢者を潜在的待機者として掌握して入所できるようにし、高齢者、健康弱者が安心して暮らせるよう要介護・要支援者の健康とくらしを守り、介護サービスと介護予防事業を行うことを求める。(堤 正明議員)

こんなことを審査・調査しました

問…質問、答…回答、意…意見
※ ◎は委員長、○は副委員長

総務企画常任委員会

【審査分野】市政全般、情報システム、防災、税など
【委員】◎小島耕一○星宏子、赤塚茂昭、矢島秀浩、山形紀弘、相馬剛、大野恭男、齋藤寿一

職員の育児休業制度が柔軟に選択でき、育児、仕事の両立がしやすくなります ③

問なぜ今回、条例を見直すのか伺う。

答国の法律改正に伴い、那須塩原市においても、職員が子育てと仕事を両立しやすいよう、制度の見直しと環境整備を行うためである。

問1日2時間までの部分休業と、年間10日相当の部分休業は、年度の途中で切り替えられるか伺う。

答原則として、年度の初めにどちらか一方を選んで利用する。ただし、やむを得ない事情がある場合には、年度の途中でも変更できるようになっている。

消防団の定員が現状に合わせて見直されます。報酬や多様な人材の受け入れも検討へ ⑦

問今回、消防団の定員が250人減だが、市の広い地域に対する防災力に影響はないか伺う。

答今まで黒磯、西那須野、塩原の3つの支団で定員の決め方がバラバラであった。また、かなり前に設定したもので、今の状況に合っておらず、実際に団員の数も減っているため、今回、人数を見直してこの数字になった。防災力は維持できると考える。

議員間討議 現在、消防団員の減少を肌で感じているが、今回かなり定数を減らし、かなり人件費も削減されるのかと思う。これを契機に、消防団員の環境改善のため、報酬等について考えていくべきだと思うが、この点について、議員間討議を行いたい。
意消防団員の報酬について今後見直しを検討すべきと考える。

意積極的に在日外国人の方にも消防団に参加していただきたいと考える。

意団員だけではなく家族へのサポートの配慮も必要と考える。



福祉教育常任委員会

【審査分野】福祉、子育て、教育、文化、スポーツなど
【委員】◎佐藤一則○林美幸、松野真弓、星野健二、平山武、齋藤誠之、中村芳隆、金子哲也

那須塩原市体育施設条例の一部が改正になります ④

問利用料金制度になると設備の修繕費はどのようになるのか伺う。

答30万円以上の修繕については、市と指定管理者が協議して対応する。

問指定管理者が様々な制度を導入し、努力を重ねて取り組んだにも関わらず、収入が減った場合には補填するのか伺う。

答いかんともしい理由により、収入が大幅に減った場合には、協議して補填する流れで進めたい。

那須塩原市ホースガーデン条例が廃止になります ⑧

問ホースガーデン廃止後はどのようになるのか伺う。

答施設の跡地利用は検討中。事業としては乗馬教室を馬のふれあい事業と改称した上で、市内の受託業者が所有する施設へ、バ

スで学校から送迎する方法に変更して継続実施していく。

問市内の子どもたちが平等に馬と触れ合う機会を作れるのか伺う。

答受託業者が複数になるため、馬の数も増える。それを学校側にきちんと説明し利用してもらえよう、受託業者とも情報共有を行っていききたい。

建設経済常任委員会

【審査分野】都市計画、道路、農業、観光、環境、交通、水道など
【委員】◎田村正宏○堤正明、戸張靖久、小出浩美、三本木直人、室井孝幸、森本彰伸、松田寛人

那須塩原市の温泉使用料が増額されました ⑤

問温泉使用料の基本使用料を1.4倍に増額することについて、市民や事業者の理解は得られたのか伺う。

答宿泊施設へは個別訪問で説明し、住民説明会も2回実施した。長年改定していなかったこともあり、特に大きな反対意見はなかった。

問使用料を増額する理由について伺う。

答利用者の減少や光熱費の高騰、老朽施設の改修費用増加などにより、維持管理費が増えているため増額した。

災害時の下水道修復工事を他自治体の業者にも依頼できるようになります ⑥

問今回の条例改正の内容について伺う。

答災害時など非常の場合に、他の自治体の指定工事業者でも下水道の排水設備工事ができるようにする改正である。令和6年1

月の能登半島地震では、被災地で工事需要が集中し、業者の確保が難しく復旧が遅れる事態が発生した。この経験を踏まえ、国の技術的助言に基づいて条例を改正するものである。

問今回の改正による、市民の生活への影響について伺う。

答平常時の工事や申請手続きはこれまでと変わらない。災害など緊急時に、他自治体の指定業者が応援に入って復旧を早められるようになるため、安心・迅速な対応体制を整えるための改正である。

問水道事業の条例改正と内容が似ているが、違いはあるのか伺う。

答水道は「施工できる」と明記されているが、下水道は「指定工事店でなければ行っってはならない」と規定するなど、法律の仕組み上、表現の違いがある。いずれも目的は同じく、災害時に柔軟で迅速な対応を可能にするための改正である。

予算常任委員会

【委員】◎小島耕一 ○佐藤一則 ○田村正宏、その他全議員

物品売払収入がありました ⑨

問物品売払収入について、消防団3支団11台のポンプ車748万円の動産売払収入が得られたとのことだが、詳細を伺う。

答11台を1台ずつ入札し、参加した業者は8業者で、全て県外の業者である。金額は52万3,000円から115万円の間で落札され合計が748万円だった。

問購入価格は1台2,000万円ほどするが、最低の入札価格は、走行距離も勘案して決めているか詳細を伺う。

答最低価格は、何年か前に入札した際が一番低い価格としており、走行距離は考慮していない。

学びの多様化学校の環境が整備されます ⑨

問メタバースなどにも対応できるWi-Fi環境の整備を検討しているのか、またどのような教科を学びたい人たちが来ることを想定しているのか伺う。

答タブレットを活用し、学校と同等の学び

を提供するためWi-Fiを強化することはない状況である。また、三島中学校の生徒と同じ教科を学ぶことを想定しており、総合的な学習の時間では宿泊体験館メープルやホースセラピーなどの体験を取り入れながら計画を策定している。

県産小麦・大豆の供給力を強化しました ⑨

問県産小麦・大豆の供給力強化事業の詳細について伺う。

答県産小麦もしくは大豆を生産するに当たって、生産面積の拡大を行う際に導入される大豆のコンバインの機械等に関して補助が行われるものである。



シン・那須塩原
松田 寛人議員



令和6年度決算について

問 中・長期財政の見通しでは、今後も財政調整基金の額を45億円程度確保していくとある。この額は、標準財政規模の10%程度と言われているが、本市は、約1.5倍の、45億円を維持するため毎年度10億円を積立している。これにより、市民サービス水準の低下や、市民負担の増加にならないか伺う。

答 標準財政規模の10%から20%が適正と言われていて、令和5年3月定例会議においても、標準財政規模の15%である45億円が適正規模であると答弁している。10億円の積立ては、事業遂行のために予算配分をして、結果的に残った剰余金を積んだ結果である。

新庁舎建設の入札不調に関する所感と今後の対応について

1. 那須塩原市令和6年度決算について
2. 新庁舎建設の入札不調に関する所感と今後の対応について

問 本年3月定例会議において新庁舎建設工事に関わる継続費として137億円を設定し、議会の承認を得た。そして、6月2日の告示後、入札参加申請を提出していた業者から参加辞退届が提出され、入札不調となり、令和9年度完成予定であった時期が遅れる見込みとなった。入札不調となった原因をどのように分析し、今後のスケジュールをどのように考えるのか。また、どのような対応をしているのか伺う。

答 主な原因は、資材価格の高騰などにより予定価格を上回る見込みとなったことと、慢性的な労働力不足などである。新庁舎建設工事施工者選定審査委員会の意見を伺い、参加申請のあった事業者へのヒアリングをはじめ、参加申請をしていない事業者にも広くサウンディングを行って原因を分析していく。



なすの会
小島 耕一議員



米価高騰下における本市の米生産の方向性について

問 米不足は国の情報提供の間違いから発生している。令和6年度まで主食用米の作付参考値を47.1%とした理由は何か。

答 主食用米の作付参考値は米の需給と価格の安定を図り、生産者の経営安定のために設定されている。

問 本年度、本市の作付面積は作付参考値より多いが市としてはどう考えているのか。

答 本年ばかりでなく令和6年の時点でも作付参考値より400ha以上も上回っており、経営者の判断ということで尊重している。

問 本市の転作面積で、すぐに水稻作付ができる飼料用米などの作付面積はいくらか。

答 飼料米が117ha、WC Sが301ha、加工用米63ha、麦が213ha 合計694haである。

本市は米増産が可能、正しい作付参考値で生産と経営、米価の安定を。

那須高林産業団地内の地中障害物に係わる損害賠償について

問 栃木県土地開発公社では、国道400号の塩原地区トンネル工事の残土を受入れたとのことであるが、この残土である可能性は。

答 塩原地区の国道400号のトンネル工事現場付近からサンプルをとっており、そこから運び込まれた可能性が高いと認識している。

問 相手がわからなくても告発することは可能であるが、告発はどう考えているのか。

答 岩の成分が塩原地区のものに近いという調査結果が出たため、改めて県、あるいは県土地開発公社と協議を進める考えであるが、告発については今のところ検討していない。

※ WCS とは
稲を穂ごと発酵させて作る家畜用飼料のこと。



みらい共創
中村 芳隆議員



持続可能な水道事業について

問 鳥野目浄水場更新工事の進捗状況について伺う。

答 令和7年8月末現在の進捗状況は、土木建築工事が52%、機械電気工事が9%である。

問 水道料金の見直しの考えについて伺う。

答 水道事業は、老朽施設の更新、資材価格の高騰による費用増、人口減少に伴う収入減などにより財政的に厳しい状況である。現状の試算では、期間中に収支が赤字に転じる結果となっている。現在、財政シミュレーションを実施しており、10月からの上下水道事業審議会において料金見直しに関する検討を行う。

公共施設の長寿命化について

問 黒磯文化会館の不具合の原因と再発防止策

市民に安心・安全な水を安定供給し、その持続可能性を確保すべきである。

について伺う。

答 給水冷温水機内部の一部伝熱管が経年劣化により破損し、運転不能となった。今回の不具合は機械を分解して原因を特定したもので、従来の点検では劣化の兆候を捉えることは困難であった。今後も計画的な点検を継続することに加え、今回の事例を踏まえ、施設の老朽状況に応じた順応的な点検を検討しつつ、異常を検知した際には迅速かつ的確に緊急対応を講じる。



林 美幸議員



地方再犯防止推進計画について

問 計画策定の考えについて、必要な支援につなげていくことが課題とのことだが、既存の支援団体、保護司会、更生保護女性会、BBS会、就労支援等の連携状況について伺う。

答 市と支援機関の連携は、それぞれの機関が独立して支援を行っているが、十分に連携をしているとは言えない。今後、各支援機関から話を伺い計画策定に取り組み、市と各機関が協力し合える体制を整備していく。

問 地域福祉計画の策定期間に再犯防止の視点を入れ、具体的にいつ頃策定させるのかを伺う。

答 次期地域福祉計画が令和10年度からの計画の予定であり、令和10年3月までには策定していく。

※ BBS 会とは
非行や困難を抱える少年少女の立ち直りを支援する青年ボランティア団体のこと。

「馬で変わる？あなたの子ども」
ホースガーデンの10年間の実績と効果は、
社会を明るくするまなざし

ホースセラピーを活用した障害児支援及び高齢者介護予防について

問 乗馬教室以外に委託していた内容について伺う。

答 乗馬教室以外にフレンドシップ教室があり、ハートフルスペースを子どもたちが活用するものをフレンドシップ教室としており中身は乗馬教室等のメニューと同じである。





佐藤 一則議員

**野生鳥獣による被害の現状と対策について**

問野生鳥獣の個体数の傾向を伺う。

答シカ、イノシシ、カワウは減少傾向。サルの生息域は拡大傾向。クマは大きく増加。カラスは把握していない。

問個体数が変化する要因を伺う。

答鳥獣の個体数が増加する要因として温暖化や積雪量の減少など、気候の変動や耕作放棄地の増加などによる、生活適地増加が一つの要因と認識している。

問直近の捕獲数を伺う。

答令和6年度、シカ719頭、イノシシ104頭、クマ3頭、サル112頭、カラス173羽、カワウ2羽となっている。

問捕獲を実施しているのは誰か伺う。

答シカ、イノシシ、サルは、鳥獣被害対策実施隊が捕獲を実施し、クマ、カラス、カワウ

鳥獣被害対策実施隊の充実により野生鳥獣の生息域が本来の場所になり、皆が安心して幸せな生活を送れることを願って止みません。

は猟友会が実施している。

問個体数の管理目標を伺う。

答令和7年度の捕獲計画数は、シカ1,050頭、イノシシ120頭、クマ8頭、サル160頭、カラス250羽、カワウは設定が無い。

問鳥獣被害対策実施隊の活動時期と活動範囲を伺う。

答市内全域において通年で活動している。

問市街地にクマ類が出没した場合の対応を伺う。

答9月1日から市町村長の判断で銃猟が可能になった。猟友会などの関係機関と協議を行うなど準備を進めたい。

問今後の獣害対策について伺う。

答「捕獲」「防護」「環境整備」を基本に対策を強化していきたい。

子どもたちが良好な読書環境の下で成長し、将来大きく羽ばたき、地域社会に貢献してくれることに期待します。

那須塩原」を展開しているが、更なる周知に努めるとともに新しい事業の可能性を模索していきたい。

公立小中義務教育学校図書室の充実について

問地方交付税によって措置された学校図書室図書整備費の活用状況について伺う。

答図書購入費、新聞配備費、学校司書費のいずれも普通交付税の算定額には達していないため、今後は、できる限り文部科学省が示す目標値を維持、達成できるよう努めてまいりたい。

問本市において全国紙の朝刊はどの程度配備されているか伺う。

答本市の小中義務教育学校のうち全国紙の朝刊を購読しているのは1校のみである。



星 宏子議員

**市有道路の舗装修繕について**

問道路舗装修繕の要望の現状について伺う。

答令和6年度の道路に関する補修要望件数は全体で1,714件であり、そのうち、舗装修繕に関する要望件数は702件。対応済みは、660件である。未処理件数は42件である。

問道路舗装の修繕基本計画40路線に対して23路線が完了した。執行率は57%であるが、市の所感を伺う。

答近年の工事資材、人件費が高騰しており、当初計画していた年間の事業費内で、整備完了が難しくなっている。

問作業効率化を図るため、パソコンの地図上に要望箇所を登録して管理することは考えられないか。

答パソコン上での位置の管理を行うために、来年度から運用を開始する庁内GISの活用

道路は車社会を支える大切なインフラ。市の人口動態や将来を見据え、計画的な道路整備を！

を検討し、担当職員以外でも道路関係要望箇所の情報共有を図っていききたい。

問私道の整備支援について、3年間で12件の利用者があった。制度の認知不足で利用件数が少ないのではないか。現在、進めている私道整備支援制度の見直しにあたり資材費に工賃を加算し、資材費も物価上昇分を勘案し、規制緩和をした上で、動画を作成して市のホームページでPRを図ったり、ポスターを作成し貼りだしたり様々な手段を用いて周知を図っていく考えはあるか。

答今回の制度見直しにあたり、新制度を市民に周知を図っていくために、議員の提案を勘案し検討していく。



田村 正宏議員

**予防医療の推進による健康寿命の延伸と医療費抑制を目指した戦略的健康施策について**

問本市における健康寿命の現状と課題について伺う。

答令和4年の健康寿命は男性79.81歳、女性84.61歳であり県内順位は男性5位、女性1位と上位を占めている。課題については日常生活に支障はないものの、生活習慣の改善が必要な人や、病気を治療しないまま放置するなど、健康に問題を抱えている人がいることと認識している。

問国保と後期高齢者を合わせた健診の受診率は40%程度であるが、今後受診率を向上させるためのインセンティブの付与などは考えられないか伺う。

答毎日の歩数や健診記録の登録で「健康ポイント」が獲得できる事業「エンジョイ health



金子 哲也議員

**戦没者追悼式について**

問8月15日の西那須野地区で行なわれる戦没者追悼式は市と一緒にやるという気持ちはないのか。維持を支援しているとは思えないが、遺族会だけでなく大勢の市民が戦争の悲惨さや戦没者に思いをはせる集いにしたい。

答市は事務局を務めている。恒久平和を祈っていくことは重要である。今後遺族会と協議をしながら開催を支援していく。

問秋の戦没者追悼式も先細りになっているが、もっと中身のあるものにできないか。

答より参加しやすい環境づくりが必要かと思う。形式よりも身のある内容にしていくのが重要と考えている。若い世代が参加しやすくする工夫をしていく。

1. 戦没者追悼式について
2. 姉妹都市リンツ市との国際交流について

リンツ市との国際交流について

問リンツ市との姉妹都市提携締結後9年がたつが、市民による国際交流を市が支援できないか。

答今後は市民が主体的に参加する交流が促進できればと思い、引き続き両市の交流関係を深めていきたい。



三本木 直人議員



高齢者の居場所づくりについて

問 高齢者の通いの場は、どのようなものがあるか。

答 市が補助金を交付している通いの場として、生きがいサロンがあり、地域の人材を活用し、交流の場を運営し、助け合いの意識の醸成を図る。次に老人クラブ、生きがいづくり、仲間づくり、地域貢献活動を目的とする。

市が委託事業として実施している場として、元気アップデイサービスとシニアセンターがある。これらについては、65歳以上の介護状態になっていない元気な方を対象としている。まず、元気アップデイサービスについては、介護予防的な孤立を防ぎ自立した生活を支えることを目的としている。

シニアセンター事業としては、筋力トレーニング、マシンのトレーニング、温水プールを

1. 高齢者の居場所づくり(通いの場)について

使ったトレーニングを実施している。そのほか貸館によるカラオケ、囲碁、将棋、健康マージャンといったレクリエーション活動を行っている。

その他の地域の中には、高齢者が主体となって、定期的に様々な通いの場を実施しているグループ的なものもある。3人以上のグループから依頼があれば、保健師が100歳体操の指導をしている。これらによって、生きがいづくり、社会参加の促進、閉じこもりや孤立化すること、そして、介護状態になることの防止、健康寿命の延伸を図り、その結果として、介護の給付費、保険料の増大の抑制に大きく貢献していく。



森本 彰伸議員



三島体育センター体育館の建替について

問 人口密度が高く、体育施設としても、避難所としても、現状以上の広さと空調の整備が求められる三島体育センター体育館は、現在、使用できない状態にある。市民のニーズにしっかり応える施設とすることを望むが、現状での計画と今後の考え方について伺う。

答 第2期那須塩原市スポーツ施設整備計画では、体育館、武道館、弓道場とそれぞれ独立して建てられているものを合築することにより、建築コストを削減すること、民間資本ノウハウを活用したPFI等の公的な手法による整備を進めるとしており、市の財政負担抑制となる手法を念頭に検討している。

問 市長が掲げている、那須塩原市の付加価値を高めるためには、人口が増加傾向にあり、インフラの整備も進んでいる三島地区にある

三島体育センター体育館に十分な機能を！その他、英語教育について質問しました。

この体育館は多様なイベントに活用でき、かつスポーツコミッションやスポーツツーリズムの拠点にもなりうると思うが、市長の考えを伺う。

答 この地区は、インフラの整備も進み、人口も伸び、地価が上がっている。地方が過疎化していく中、人口が増えているのは奇跡的であるが公共施設として大きな金額がかかる中、どのように投資を回収するのか、PFIやPPPなど民間活力を呼び込める可能性にかけてみたい。スポーツコミッションなどについても含め総合的に判断をしていきたい。



山形 紀弘議員



地域と共に考える学校の将来像について

問 本市の新入学児童数の直近5年間の推移と今後の見通しについて伺う。

答 令和3年度は970人、令和4年度は1,051人、令和5年度は947人、令和6年度は882人、令和7年度は881人であり、5年後の令和12年度入学予定児童数はおおよそ620人である。

問 学びの多様化学校「プリズム」について伺う。

答 増加傾向であった不登校児童生徒数は、令和6年度には小学校で横ばい、中学校で減少に転じた。不登校対策を推進するため、進路に不安を抱える不登校の中学生を対象に、来年度新たに設置されるのが分教室型の学びの多様化学校「プリズム」である。不登校の生徒の実態に配慮した特別な教育課程を編成

児童生徒減少の中、地域の意見を尊重し学校の統廃合と適正配置を進める必要がある。

し、教員が生徒の実態に応じた授業を行うことが可能となる。

問 人口減少の現状を踏まえた、子どもたちの学びと成長を支える学校の在り方について伺う。

答 地域の魅力を生かしながら、子どもたちの学びと成長を支える学校づくりが重要である。小規模であっても、一人ひとりに寄り添った丁寧な指導を充実させ、児童生徒数の変化が進む中でも、その推移を十分に見極めつつ、将来を見据えた学校規模や配置の適正な在り方を引き続き検討する。



堤 正明議員



防災道の駅等、観光客の避難所について

問 国土交通省では、都道府県の地域防災計画等で、広域的な防災拠点に位置づけられている道の駅について防災道の駅として選定し、重点的な支援を行うこととしている。防災道の駅は、地域の一時避難所にも指定されている。本市の観光客の避難所についてお聞きする。

答 防災道の駅は、都道府県の地域防災計画で広域的な防災拠点の位置づけ、建物の耐震化無停電化、通信や水の確保など災害に求められる施設体制、2,500㎡以上の駐車場、道の駅の設置者と道路管理者の役割分担等が定まった事業継続計画の策定が選定要件である。本市として当面の間、防災道の駅の選定は予定していない。

- ・災害時の観光客の安全確保を
- ・道の駅を防災拠点にしよう
- ・水道管の更新コストを抑え水道料金値上げストップ

車優先から人優先による市民の移動支援について

問 2026年9月から道路交通法施行令が改正され、生活道路における自動車の法定速度が時速60kmから30kmに引き下げられる。これによりグリーンスローモビリティが区内交通の移動手段として能力を発揮しやすい環境が整う。市民の移動支援についてお聞きする。

答 グリーンスローモビリティは、CO₂も排気ガスも出さないことから、二酸化炭素の削減につながると考えている。自動運転についても、期待をしているテクノロジーであり、実装化されれば今までの問題はかなり解決し、温暖化対策にもつながり非常に期待をしている移動手段のひとつと考えている。



星野 健二議員



内水氾濫対策について

問本市の雨水管渠の現在の整備状況と整備目標について。

答公共下水道事業計画による雨水管渠は、時間降雨 45 ～ 50 ミリに対応して整備する方針としており、整備率は約 39% となっている。整備目標については、近年の気候変動の影響を踏まえたうえで「雨水管理総合計画」を策定中であり、この中で具体化していく。

問「雨水管理総合計画」の策定完了はいつ頃なのか。また、計画を策定するにあたり、重要と考えているポイントは。

答現行の那須塩原市公共下水道事業計画を基に、令和 6 年度から着手し今年度中の策定を目指している。この計画は、近年の気候変動の影響を踏まえた計画降雨を設定し現状に近い方針とすることに重点を置く。内容につい

近年多発する線状降水帯やゲリラ豪雨に対応した安全なまちづくりに期待する。

ては庁内関係部署との調整を図りつつ進めていく。

道路交通法改正に伴う自転車運転について

問自転車事故において、年齢別での件数は。

答25 歳～ 64 歳の成人層では、令和 3 年に 6 件、令和 4 年に 12 件、令和 5 年に 19 件と年々増加している。

問道路交通法改正を受けた今後の取り組みは。

答引き続き警察などと連携して啓発を行っていく。交通安全教室などの機会を利用し自転車の交通違反に対する交通反則通告制度について説明していく。

子どもたちをネットトラブルから守るためにもリテラシー教育は今の時代のマストです！

市民大学の活用と活性化について

問受講生の主な年齢層、男女比について伺う。

答令和 6 年度は、受講者の主な年齢層は 70 代以上が 37%、60 代が 21%、合わせて全体の 58% を占めている。また全体の男女比は男性が 44%、女性が 56% となっている。

問将来的に地域に貢献し、活躍出来る人材を輩出するために、今後どのように若い世代に呼びかけを行っていくのか伺う。

答若い世代が興味を持つような、講話型の講座だけではなく体験型の講座などを検討していく。また SNS を活用した情報発信に力を入れていきたい。

※ネットリテラシーとは
インターネットの情報や事象を正しく理解し、適切に判断運用できる能力。



矢島 秀浩議員



交通安全対策について

問本市における直近 3 年間の交通事故の発生件数や傾向について。

答交通事故の発生件数は減少傾向にあるが、高齢者の割合は毎年 4 割を占める。

問死亡事故や重大事故が発生した場所に対して、交通安全対策はどのように行われているか。

答警察は標識や横断歩道の見直しと取締り強化、道路管理者はポストコーン設置や路面標示の修正、市は注意喚起の巻き看板を設置した。

問交通安全に関する市民への啓発活動について。

答みるメール・LINE・ホームページ・班回覧で周知を行い、また交通安全市民総ぐるみ運動を通じて啓発活動を実施している。

一件でも交通事故が少なくなるように個々の意識付けや万全の対策が必要です。日々の管理で公園を皆様に安心安全に使っていただければと思います。

公園整備とその利活用に関する現状と今後の展望について

問遊具の安全点検、老朽化への対応状況について。

答都市公園は年に 1 回、専門業者が点検し必要に応じて修繕、帰属公園は令和 4 年度に全遊具を点検し、危険遊具を撤去した。

問公園の整備や維持管理に関して、地域住民や市民団体の意見などを取り入れているか。

答都市公園の施設更新時には地元自治会長らに説明・意見聴取を行い、昨年度は那珂川河畔公園にインクルーシブ遊具を設置後、障害福祉団体へアンケート調査を実施した。

問Park - P F I を活用することへの所見について。

答市の財政負担軽減や収益性の確保などの利点があり有効と考えている。

「市民に寄り添う市政」の観点で福祉行政に対する市長の考えなどを質問しました。



小出 浩美議員



市民に寄り添う福祉行政について

問第 4 期那須塩原市地域福祉計画・地域福祉活動計画に掲げた「地域共生社会」について伺う。

答お互いつながりながら、役割を持って主体的に参加できる仕組みづくりが目的である。

問計画の着実な実施に向けた、今後の福祉行政に対する市長の考えについて伺う。

答福祉に興味がないと言われることがあるが決してそんなことはなく、福祉関係の様々な方たちと関わってきている。福祉もしっかりやっていくという発信をしていきたい。

稼ぐ農業への支援について

問スマート農業の普及啓発を図る「次世代農業チャレンジ事業補助金」の実績と今後の取り組みについて伺う。

答注視している実績としてアスパラ栽培の新たな遮熱対策でファンを導入した事例などがあり、効果があった事例は情報を蓄積し、サポートしていきたい。

クマによる被害の今後の対応について

問鳥獣管理法の改正により可能となった緊急銃猟制度の対応状況と熊の被害への今後の対応について伺う。

答緊急銃猟制度は、住民の安全性を確保した上で、市町村の判断で 9 月 1 日から猟銃を市街地などでも可能とする制度である。現在、警察や県、猟友会などの関係機関と調整を進めているが、実施に当たっての課題が多い。人の生活圏への熊の侵入を防ぐ対策などを実施していきたい。

市議会防災訓練を実施しました

令和7年8月22日、災害時などに行うべき議会・議員の役割や行動基準を定めた「議会BCP（業務継続計画）」（令和元年9月策定）をより実効性のあるものとするともに、災害に対する危機意識を高めるという目的から、防災訓練を実施しました。

市内における24時間雨量が200ミリを超える見込みの豪雨災害を想定し被害状況や安否確認について、各議員が報告をする情報伝達訓練を行いました。また、災害対策本部会議をオンライン上で開催しました。

日頃から災害に対する意識を風化させないためにも、今後も継続して訓練を実施していきます。

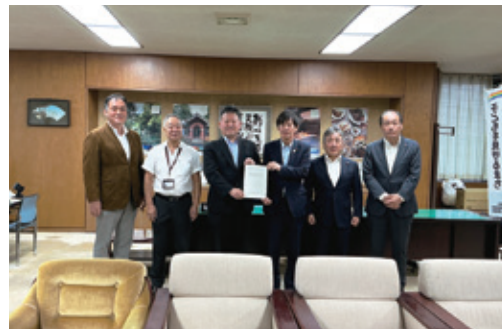


資産等報告書に関する審査報告書を議長に提出しました

那須塩原市議会政治倫理審査会では、那須塩原市議会議員政治倫理条例に基づき、「資産等報告書」を審査し、審査結果を議長に報告しています。

令和7年は、9月8日（月）の第1回審査会で、議員24人全員から提出された資産等報告書の内容を審査し、9月29日（月）の第2回審査会で、審査結果を踏まえた審査報告書を作成しました。

第1回審査会の結果、すべての資産等報告書は適正に記載され、提出された証明書類とも符合していることを確認しました。不正や不適切な点は認められず、全議員が市民全体の奉仕者として倫理の向上に努めているものと判断されたので、その結果を第2回審査会でまとめ、「資産等報告書に関する審査報告書」を作成し、令和7年10月16日、報告書を議長に提出しました。



議会からのお知らせ

那須塩原市議会のインスタグラムを立ち上げました！
議会の活動を発信していますのでぜひ、フォローをお願いします。



@NASUSHIBARA_CITY_COUNCIL

中学校 出前講座

那須塩原市議会では、主権者教育の一環として、令和2年度から市内中学校・義務教育学校を対象に出前講座を実施しています。今年度も市内の中学校等から依頼を受け、広聴広報委員会の議員を中心に、市議会について講座を開いています。

ここでは、10月9日に三島中学校で実施した出前講座の様子を紹介します。

①市議会の仕組みについて説明

市議会の仕組みについて、パワーポイントでイラストや図を用いながら説明をしました。参加生徒の皆さんは必要に応じてメモを取ったり、相づちを打ったりと真剣に議員の説明に耳を傾けていました。



②〇×クイズ

市議会の仕組みについて説明を聞いた後、〇×クイズに挑戦してもらいました。近くのクラスメートと相談しながら答えている様子もありました。中には全問正解した生徒さんもいて、全体の正解率はとても高かったです。



③議員への質問

参加生徒からの質問に議員が答えました。市議会議員の給与や、議員になろうと思ったきっかけなど、議会や議員についての質問のほか、恋愛についてや議員同士の交友関係などの質問で盛り上がっていました。



Future

～わたしの夢～ No.33

厚崎中学校 3年

ひら やま

ね ね

平山 寧音さん

ソフトボールで描く、私の未来図

私の将来の夢はプロソフトボール選手として活躍することです。ソフトボールとは小学校の部活動見学に行ったときに会いました。とてもかっこよくボールを投げている先輩に憧れて入部を決め、最初は遊び半分でしたが、ソフトボールを深く知っていったり試合を重ねたりするうちに気持ちが変わっていきました。この夢を叶えるために、これからも自主練習を継続して技術を磨くだけでなく、ソフトボールをとおして人間性も磨いていきたいです。そして、ソフトボール選手として、人として、沢山のの人に愛され、感動を与えられる選手になりたいと思っています。



明るく前向きな性格で、多くの友人に囲まれて学校生活を送っている寧音さん。今年度、寧音さんがキャプテンを務めるソフトボール部は、栃木県大会を制し、全国大会に出場しました。優れた才能と弛まぬ努力、そしてリーダーシップや人間性。今後の活躍もとても楽しみな寧音さんを推薦いたします。

(推薦者 星 隆紀先生談)

議会 暦

日	月	火	水	木	金	土
11/23	24	25	26	27	28	29
					本会議 再開・提案説明	
30	12/1	2	3	4	5	6
			本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問	
7	8	9	10	11	12	13
	本会議 一般質問	本会議 一般質問・議案質疑	常任委員会	常任委員会	常任委員会	
14	15	16	17	18	19	20
				議員全員協議会 予算常任委員会 決算審査特別委員会	本会議 採決・散会	
21	22	23	24	25	26	27

※上記の日程は予定です。今後変更になる場合があります。
本会議、常任委員会は、午前10時開会予定です。

次回予告

次号の議会だよりは令和8年1月20日発行の新年号の予定です。

～掲載予定内容～

- 新年のご挨拶
- 出張議会について
- 常任委員会の紹介

なお、定例号は2月20日に発行予定です。

編集後記

夏の猛暑をすっかり忘れるような肌寒い季節となりました。これがラインフルエンザなどが流行り始める時期となります。どうぞ健康に留意し良いお年をお迎えくださいませ。

さて、那須塩原市議会ではこの度インスタグラムを開設いたしました。市民の皆さまに市議会を身近に感じていただけるよう、様々な視点で発信していきます。時には議員の意外な一面が垣間見える楽しい投稿もあるかも…是非フォローよろしく願いいたします！

(松野 真弓)